

常任委員会の審査から

総務企画委員会

取手市立中学校の生徒の自殺事案に係る調査結果は報告書が提出された段階で、事実関係を公表する

問 取手市立中学校の生徒の自殺事案について、県は調査結果をどのように公表し、市に対してどう対応するのか。

答 調査委員会から県に報告書が提出された段階で、事実関係について公表する。また、調査において、市教育委員会や学校における不適切な対応などがあれば、県教育委員会が適切に指導する。

問 年内に県政のビジョンを、来年九月までに総合計画を策定するそうだが、ビジョン策定に向けた取り組み状況は。

「活力があり、県民が日本一幸せな県」の実現に向けて

<4つの「新しい茨城」づくりの政策>

- 「新しい豊かさ」：質の高い雇用の創出など
- 「新しい安心安全」：地域医療の充実、防災対策、治安対策の強化など
- 「新しい人材育成」：インターネットを活用した教育の推進、子育て支援の充実など
- 「新しい夢・希望」：観光創生や魅力向上など

大井川知事の新しい茨城づくり

農林水産委員会

なし輸出の今後の支援策は産地などの意見を踏まえた支援策を検討する

問 日本からベトナムへのなし輸出が本年一月に解禁され、本県産約一〇〇トが輸出された。県も生産者とともに現地での販売促進を行ったが、今後の取り組みは。

答 なしを扱う九店舗を回ったが、現地をよく知る業者と信頼関係を築くことが重要と感じた。今後は、産地や業者などと意見交換を行い、必要な支援策を検討していく。

問 森林湖沼環境税の意義を県民に伝えるため、「木育」に注目している。保育園などに木のおもちゃや遊具を導入することを支援してはどうか。



防災環境商工委員会

観光振興を中心とした魅力度向上の取り組みは相関性の高い観光意欲度の向上に向けて取り組む

問 本県の魅力度の向上に向けて、観光振興の役割は非常に大きいと思うが、今後、どのように取り組むのか。

答 地域ブランド調査の魅力度は、観光意欲度との相関性が高いと言われているので、調査結果をよく分析し、観光意欲度向上のための施策に精力的に取り組む。また、効果的な観光PRの手法についても検討していく。

問 災害時における支援物資の提供力の強化に向けて、どのように取り組むのか。



土木企業委員会

東関東自動車道水戸線(潮来～鉾田)の進捗状況は八割を超える用地を取得している

問 東関東自動車道水戸線(潮来～鉾田)の進捗状況は。

答 今年度は約八十億円の事業費で用地買収および地盤改良工事などが進められている。現在、八割を超える用地を取得しているが、難航用地もあることから、少しでも早く残る用地取得が進むよう、あらゆる方策を検討し、実行するよう国に要望していく。

問 原則として市町村が行う水道事業の経営基盤強化についての検討は。



保健福祉委員会

海外対象医師修学研修資金貸与決定者が出ており引き続き周知を図る

問 今年度新たに開始された海外対象医師修学研修資金貸与制度の現状と、制度を活用した医師確保への取り組みは。

答 ハンガリーの国立医科大学の六年生一名に貸与が決定している。引き続き海外医科大学の日本国内事務局などを通じて制度の周知を図り、医師確保に努めていく。

問 県立中央病院については、全面建て替えを進めることを含め、一から検討するとの知事の方針が示された。手術室が足りない現状を踏まえ、早急に整備構想をつくるべきと考えられるが。



文教警察委員会

講師に対する服務規律確保の取り組みは校内研修や指導を行っている

問 わいせつ事案をはじめとした教員による不祥事が相次ぐ中、常勤講師・非常勤講師に対する服務規律の確保にはどう取り組んでいるのか。

答 常勤講師については、正規職員と一緒に通常の校内研修を実施している。また、常勤講師や非常勤講師を対象に、服務規律も含めた指導を各教育事務所ごとに行っている。

問 児童相談所から県警に対する児童虐待の情報提供は、一%に過ぎないとの報道があった。さらなる連携が必要と考えるが、今後の対応は。

